

地域医療ネットワークの例(2)

GEMITSとは

GEMITS [Global Emergency Medical supporting Intelligence Transport System]とは、急性期医療に必要な判断の元となる知識 (Intelligence) を病院前から、病院内、病院間そして最後には介護まで連携するためのシステムである。病院前医療連携として、病院前情報と現場情報をリアルタイムにマッチングさせ、搬送先病院選定の質向上を図ることで、【Right patient to the right hospital in the right time】の実現を目指す。



地域医療ネットワークの例(3)

総務省「健康情報活用基盤構築事業」医療介護連携支援事業



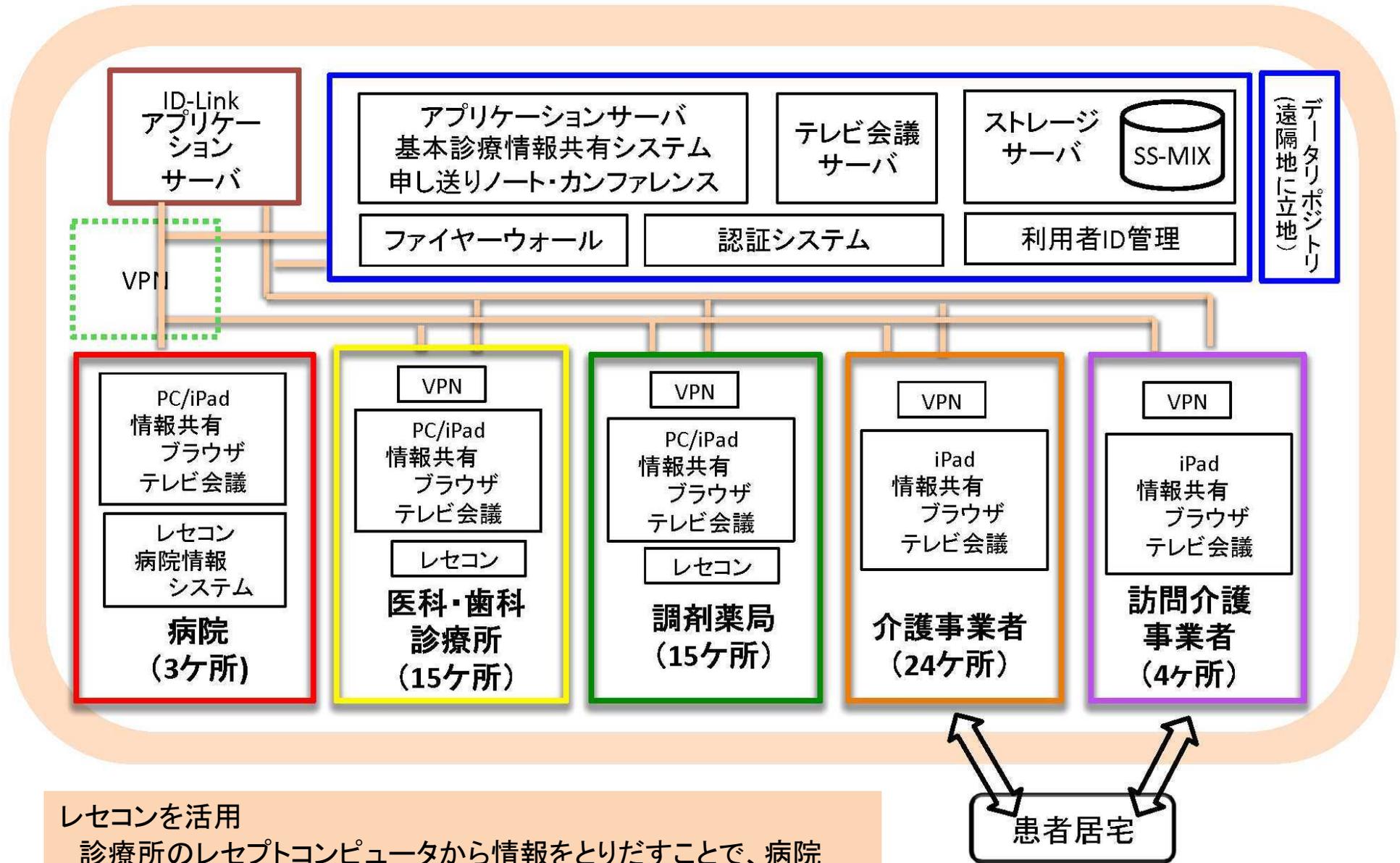
天かける医療介護連携(広島県尾道市他)

～ 地域で家族友人とともに、笑顔で過ごしたい 高齢化社会のサポートシステム ～

協力:尾道市医師会、NPO法人 天かける、NEC

地域医療ネットワークの例(4)

地域医療・介護情報連携ネットワーク:宮古サーモンケアネットワーク



レセコンを活用

診療所のレセプトコンピュータから情報をとりだすことで、病院のみならず診療所も含めたミニマムデータの共有を行う

注: 参加機関数は2013年12月現在のもの

地域医療ネットワークの持続性確保に向けて

1. ヒューマンネットワークの構築

システムありきではない。信頼関係の醸成。システムは補助的手段。

2. 連携目的の明確化

紹介逆照会の円滑化、救急医療、医療介護連携。

3. 共有する情報の絞り込み

患者基本情報、処方・調剤、既往歴、アレルギー、検体検査、画像など。

4. 運営体制の確立と運営費の確保

運営協議会等の設立。運営経費の負担ルール。

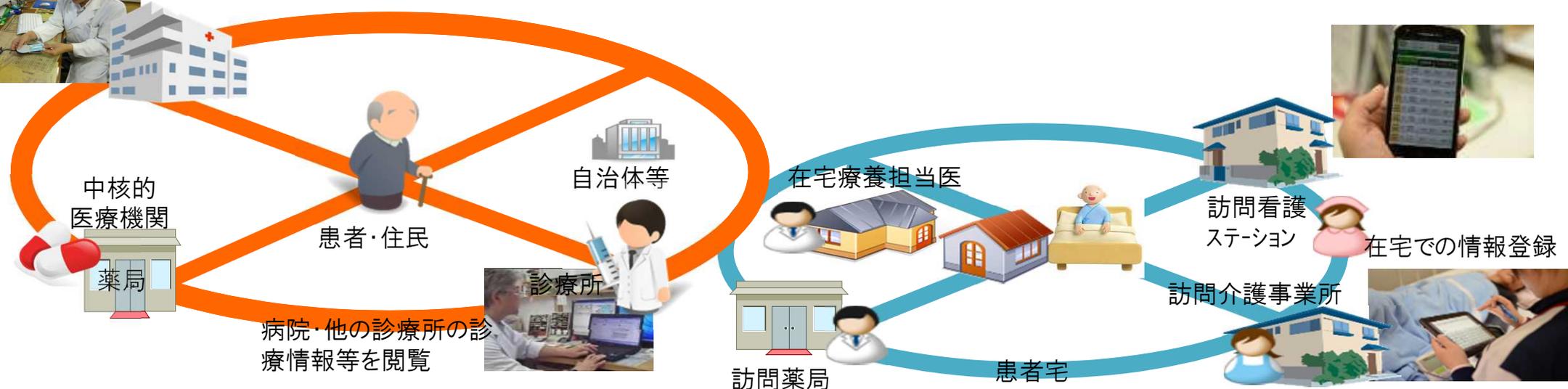
5. 費用対効果の検証と入力負荷の軽減

必要な機能の絞り込み。二重入力の回避。

6. リタラシーに応じたサポート体制

ITリタラシーの相違。医学知識の相違。

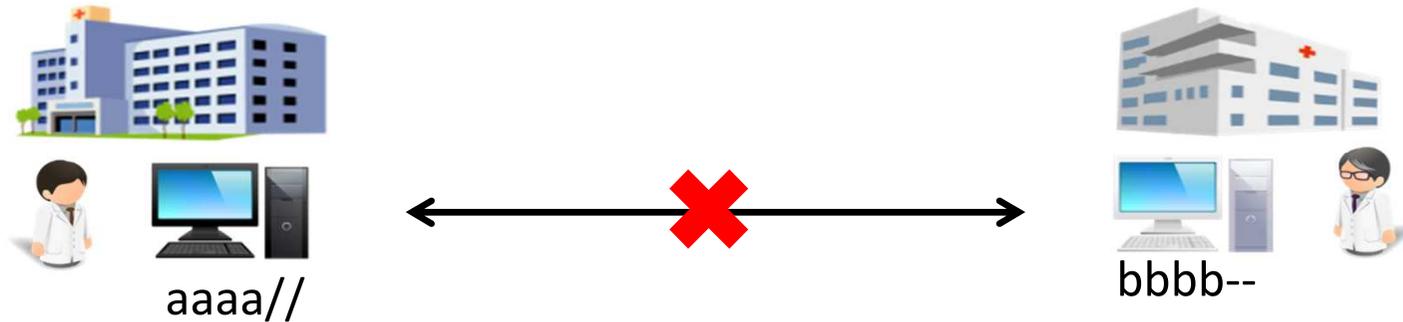
患者の診療情報
等を登録・閲覧



医療情報の規格の標準化

医療分野の情報連携を可能にするため、医療機関間でやりとりされる様々なメッセージ等の標準化を推進している。

情報のフォーマット、用語・コード、通信手順等が、ベンダーや医療機関により多様化・複雑化



医療機関間の情報共有をより効率的に進めるため



医療機関間でやりとりされる情報に関わる様々な規格が「標準化」されることが必要

